

13.7. コンフィグレーションファイルのアップデート

コンフィグレーションファイルには、コマンド、各種設定などのシステム情報が含まれ、不定期的に更新されます。ここではファイルのダウンロード方法および、インストール方法を記載します。なお、手順はご使用の環境（コンピューター、OS、ブラウザ、UNICORN などの種類、バージョン、設定）によって変わることがあります。なお、最新のコンフィグレーションファイル（ÄKTA pure 25 : 1.8 以降、ÄKTA pure 150 : 1.6 以降）は、UNICORN 7.2 以降で有効です（UNICORN 6.3.1 以前、または Windows XP には対応していません）。

OS	Windows XP		Windows 7		Windows 10
	6.3.0 または 6.3.1	6.3.2	6.3.0 または 6.3.1	6.3.2 以降	7.0.2 以降
ÄKTA pure 25	1.3 まで対応	1.5 まで対応	1.3 まで対応	1.6 以降も対応	1.6 以降対応
ÄKTA pure 150	UNICORN 非対応	1.3 まで対応	UNICORN 非対応	1.4 以降も対応	1.4 以降対応

13.7.1. コンフィグレーションファイルのダウンロード

1、国際サイト（www.cytiva.com）へアクセスします。

www.cytiva.com/aktapure

www.cytivalifesciences.com/ja/jp/shop/chromatography/chromatography-systems/akta-pure-p-05844

リンク切れでアクセスできない場合には、「ÄKTA pure」でサイト内検索をします。

2、Related Documents タブをクリックします。

3、カテゴリ「Software」内にある「ÄKTA (機種名) Instrument Configuration」をクリックし、zip ファイルをダウンロードします。ファイルは 20 MB 程度あるため、快適なネットワーク環境で作業されることをお勧めします。



4、zip ファイルを 1 回解凍します。通常はファイル名に機種名が含まれる zip ファイルと PDF ファイルが格納されています。この zip ファイルは解凍しません。詳細な手順は同梱される PDF ファイルをご覧ください。

5、機種名が記載される zip ファイルを UNICORN がインストールされているコンピューター（デスクトップなど）へコピーします。

13.7.2. システムコントロールの記録

コンフィグレーションファイルを更新すると、システム構成、システムコントロール画面の表示設定およびフラクションコレクターの設定（デレイボリューム、ランプ照射設定、温度設定）がリセットされることがあります。画面キャプチャーするなどして、変更前の設定を記録します。

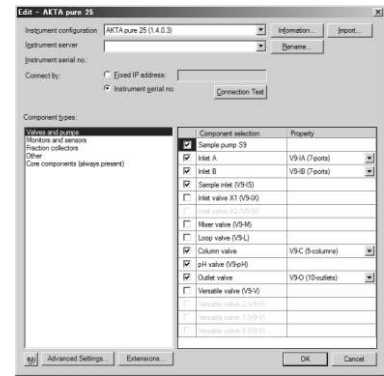
13.7.2.1、システム構成

1、Administration モジュール内の **System properties** をクリックします。



2、画面左の **Systems** を選択し、**Edit** ボタンをクリックします。

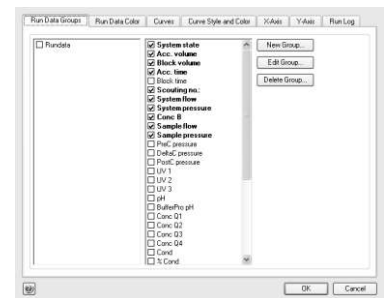
3、画面左の **Component types** を上から順にクリックし、それぞれ右側に表示されるコンポーネントのチェック有無および種類をメモします。



13.7.2.2、System control 画面表示

1、System control モジュール内で、**Tool** → **Customize** を選択します。

2、それぞれのタブに記載される設定をメモします。



13.7.2.3、フラクションコレクターの設定

1、F9-C をご使用の場合、ランプ照射設定に関して、1 章をご覧ください。

2、ディレイボリューム設定に関して、6 章をご覧ください。

13.7.3、コンフィグレーションファイルのインストール

ファイルのインストールは、必ず ÄKTA pure とのコミュニケーションが取れている、エンド状態でを行います。

1、Administration を開き、**System properties** をクリックします。



2、画面左の **Systems** を選択し、**Edit** ボタンをクリックします。

3、右上の **Import** ボタンをクリックします。

4、コピーした圧縮ファイルを選択し、**Open** ボタンをクリックします。

5、新しいコンフィグレーションのインストールが終了したら、プルダウンリストより最新のコンフィグレーションファイルを選択します。

6、「13.7.2.1 システム構成」で記録した内容と照らし合わせ、コンポーネントを選択します。

7、**OK** ボタンをクリックします。

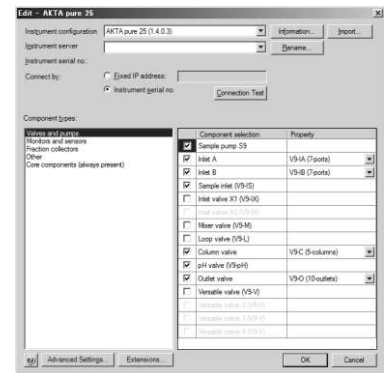
8、**UNICORN** を再起動します。

9、システムコントロール画面を開きます。

10、UNICORN と ÄKTA 本体との接続がされない場合は、**System** ↓ **Connect to Systems** を選択し、**Connect to systems** ダイアログを表示します。

11、**System name** にチェックを入れます。また **Control** ラジオボタンが選択されていることを確認します。

12、**OK** ボタンをクリックします。



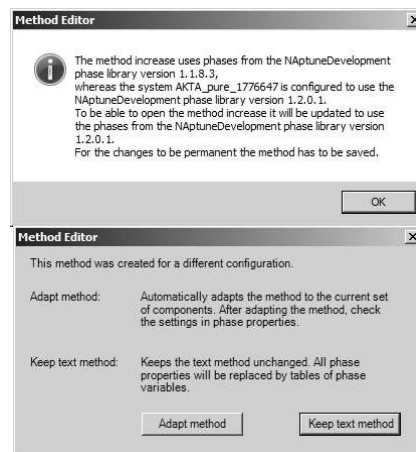
13.7.4、システムコントロールの設定

「13.7.2.2 System control 画面表示」「13.7.2.3 フラクションコレクターの設定」で記録した内容と照らし合わせ、設定します。

13.7.5、既存メソッド

作成済みのメソッドを開くと確認画面が表示されることがあります。**OK** ボタンをクリックしてその画面を閉じます。

もし、システム構成が異なったメソッドを開く場合には、**Adapt method** ボタンをクリックします。



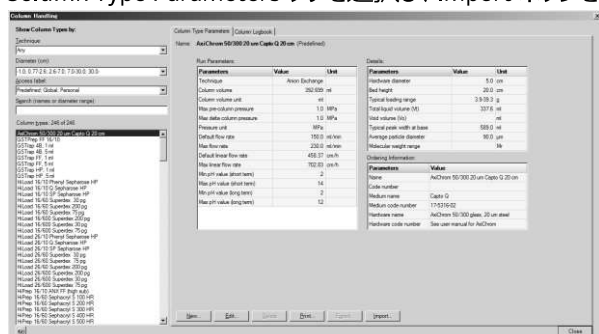
13.8. カラム事前定義ファイルアップデート

カラムハンドリング（Column handling）には Cytiva が提供する充填済みのカラム、空カラム、担体の情報があらかじめ定義された状態で管理されています。この情報はお使いの UNICORN が作成された時点のもののため、その後提供開始した製品情報を含みません。新たな情報を追加するためには、操作者自身で情報を追加する以外に、弊社本国サイトにて提供される更新ファイルを使い、定義ファイルを更新することができます。ここでは、ファイルのダウンロード方法および、インストール方法を記載します。

表示される画面や手順は、使用するコンピューターの OS、ブラウザの種類やバージョンにより異なります。

新規にカラム情報を登録するなど、カラムハンドリングの詳細を確認されたい場合は、「Method Manual」の「Handling column types（8.2 章または 9.2 章）」をご参照ください。英文マニュアルの入手方法は本書の付録に記載しています。

- 1、下記 URL をブラウザで開きます。
<http://www.cytiva.com/aktapure>
リンク切れでアクセスできない場合には、AKTA pure でサイト内検索をします。
- 2、Related Documents タブをクリックします。
- 3、カテゴリー「Software」内にある「Column List for UNICORN 6.1 and later versions」をクリックし、zip ファイルをダウンロードします。
- 4、ダウンロードしたファイルを UNICORN がインストールされている PC にコピーします。
- 5、Tools ↓ Column Handling を選択します（UNICORN 7 の Evaluation 以外であれば、どのモジュールからでも選択できます）。
- 6、Column Type Parameters タグを選択し、Import ボタンをクリックします。



- 7、手順 3 で解凍して得られた Zip ファイルを選択し、Open ボタンをクリックします。
- 8、確認画面が表示されたら、Yes ボタンをクリックします。

13.9. 試験管ポジションのリセット（メソッド）